

おばなざわ 市議会だより

101号
令和元年5月1日発行



3月定例会

予算の審議	2
予算特別委員会(総括質疑)	4
平成30年度補正予算	6
分科会委員長報告	7
一般質問	8
広域組合議会報告	21
モニターの声・市議会議員に挑戦を	22
モニター募集・人のうごき	23

発行／山形県尾花市議会 編集／市議会だより編集委員会



一般
会計

114億3千500万円を可決

特別
会計

48億9千288万円

特別会計	金額
国民健康保険特別会計	24億9,999万3千円
簡易水道特別会計	2億3,279万9千円
村山北部土地改良事業特別会計	55万円
農業集落排水事業特別会計	6,775万2千円
介護保険特別会計	19億696万円
後期高齢者医療保険特別会計	1億8,482万8千円

定例会のあらまし

平成31年3月定例会は、3月4日から20日まで17日間の会期で開催され、平成30年度補正予算9件、平成31年度一般会計・特別会計予算7件、条例の一部改正など13議案、人事案件2件を慎重に審議した結果、人事案件1件を除き、いずれも原案どおり可決しました。

また、請願2案件のうち、1件を採択し、継続審査の1件は不採択としました。
その主な内容を紹介いたします。

安心して子育てできるまちづくり

- ◎スポーツ少年団選手派遣事業 100万円 新規
- ◎高校生までの医療費無料事業 5,435万円 継続
- ◎放課後児童クラブ支援事業 3,760万円 継続
- ◎徳良湖こども広場リニューアル事業 3,200万円 新規
- ◎認定こども園整備事業 3億9,747万円 新規

いつまでも住み続けたいまちづくり

- ◎有害鳥獣対策事業 1,032万円 拡充
- ◎ふるさと暮らし応援事業 4,411万円 継続
- ◎元気な農業支援事業 1,230万円 継続
- ◎住宅リフォーム支援事業 5,518万円 継続
- ◎高齢者社会参加促進事業 972万円 継続

国道347号を活かした活力あるまちづくり

- ◎商業店舗活性化事業 100万円 継続
- ◎地域振興活性化事業 1,800万円 継続
- ◎尾花沢四大まつり補助金 1,802万円 継続
- ◎車両ラッピング観光PR事業 420万円 拡充
- ◎尾花沢市観光物産協会補助金 943万円 継続

雪に強く安心安全に暮らせるまちづくり

- ◎不良住宅除去促進事業 300万円 新規
- ◎防犯灯・街路灯設置事業 1,720万円 拡充
- ◎除雪機購入事業 7,900万円 新規
- ◎市道新設改良事業 1億8,701万円 継続
- ◎救急自動車更新事業 4,512万円 新規

総括質疑 13名の議員が熱い議論!!

予算特別委員会



鶴子小学校大根栽培活動

運転免許証 自主返納事業

Q 高齢者運転免許証自主返納で生活交通支援されるチケットは、翌年の使用も可能なのか。(鈴木裕雅)

A 平成29年度から支援内容を拡充しており、2万円相当のタクシー券、またはバス回数券を支給しているが、翌年も使用できる運用となっている。

元気な農業 支援事業

Q この事業の現状はどうなっているのか。またここ5年間の推移はどうなっているのか。(武田佳久)

A 新規参入農業者は4件で、5名の方が農業支援を受けている。また、国が助成している農業次世代事業と市の単独事業を含めると、

活力ある 学校づくり事業

Q 事業費が昨年の5倍に増額されているが、その狙いと、どんな事業を目指しているのか。(伊藤 浩)

A 学校と地域が一緒にになり、子供たちと地域の人が交流を図ることで、ふるさとを想う心を養い、地域の良さを発見できるように事業を進めていきたい。

平成25年度から17名が活用し、就農している。

シルバー人材 センター

Q シルバー人材センター運営補助金について、どのように考えているのか。(大類好彦)

A シルバー人材センターには現在300名の会員が登録しており、継続して地域経済活動に参加していることは重要と考えており、今後継続して支援していく。

ふるさと応援基金

Q 国の制度変更で、納税者の意識が変わってきた。さらに納税額を増やす対策は。(塩原未知子)

A 本市の返礼品は農産品が多い。今後は出荷量の確保や、生産者

婦人科検診の 拡充

Q 乳がん、子宮頸がん、子宮体がんの3点セット検診を推進させてはどうか。(小関英子)

A 子宮体がん検診は、子宮頸がん検診の受診後に受けることとなっている。自覚症状があり、ハイリスク症状に該当する場合は、医療機関を受診していただくように指導をしている。

銀山温泉の整備

Q 銀山区長、並びに温泉協同組合理事長から提出された要望書には喫緊の課題が多い。どう答えていくのか。(菅野修二)

A 実施設計が31年度からとなっており、事業費を含め、建物自体

の顔の見えるPRの方法を検討する。



都市計画策定事業

Q 学園都市構想を踏まえて、都市計画マスタープランを作成していく上で、どこを学園都市として、また住宅地として開発していくのか。(加藤克彦)

A 先を見通した計画が必要と考えている。今後の保育所や学校も含め、学園都市構想と住宅地などのマスター



銀山温泉

不良住宅除去事業

Q この事業の対象者は、除去が困難な個人となっているが、収入の基準などはあるのか。また、倒壊した場合の補助金などはあるのか。(星川睦子)

A 全壊した場合、不良度の判定が不可となり、補助金対象にはならない。一部倒壊の場

プラン計画を庁内で話し合いながら検討したい。

尾花沢小学校 整備事業

Q 小学校下グラウンドへの水道設備設置、及び休日のトイレ使用への対応はどうなっているか。(星川 薫)

A 現在、担当部門で検討は行っているものの、学校との協議が終わっていない状況なので、設置及び使用に向けて継続して協議し対応する。



尾花沢小学校グラウンドの水道

合は残っている部分について判定し、補助金対象となる。所得基準は特に設けていないが、低所得者の方が上の順位となる。

荒楯地区分譲地

Q 荒楯地区分譲地PR業務委託料の内容はどのようなものか。(和田 哲)

A 分譲地の販売PR用のチラシ作成のための予算であり、残り9区画の販売促進につながるような広告内容を再検討したうえで、PR活動を進めていく。



荒楯分譲地

延沢銀山 遺跡整備事業

Q 今年度、国指定史跡の山神社の改修計画があるが、完成後の管理は、後世に守り伝えられるよう、地域において遺跡保存会などを作り、管理をしてはどうか。(笹原和子)

A 銀山温泉全体の観光施設の一環として、温泉組合などが主体となって、歴史遺産の管理を行っていただくなど、原則的には、地域で管理をお願いしたいと考えている。



銀山山神社

第7次総合振興 計画

Q 今後10年間の指針について、重要な多くの課題が山積しているが、本市のまちづくりについてはどう考えるのか。(青野隆二)

A 本市の政策は子育てや高齢者、産業振興、安心・安全なまちづくりに関して他市と比べて負けないものと思っているが、急激な少子高齢化による人口減少が大きな課題と考える。計画の策定にあたっては、住んで良かったといえる施策を、市民と共に真剣に考えていくべきである。

議長 須貝 孝
副議長 奥山 格
予算特別委員長
2名は役職の立場上
質疑はできません。

補正 予算

一般会計 共同調理場空調設備工事など 4,595万8千円を可決

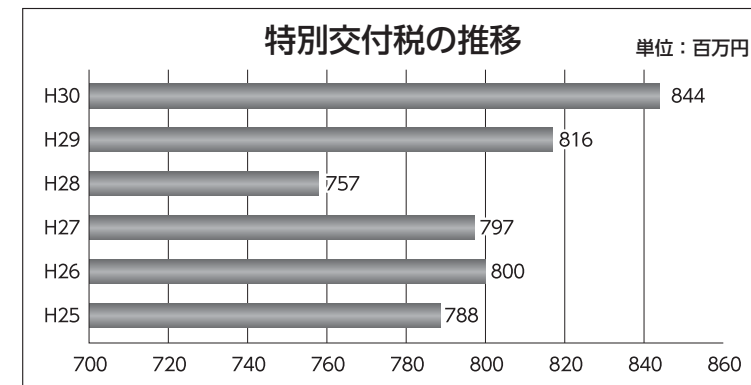
平成31年3月定例会の初日に、一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計などの補正予算7案件が上程されました。

各議員から、学校給食共同調理場工事請負費、担い手確保・経営強化支援事業補助金、会計年度任用職員制度移行に伴う例規整備等業務委託料などについて質問が行われ、すべて原案通り可決しました。



除排雪費用など市町村が独自に実施している事業経費に対して、年度末に国から交付される平成30年度の特別交付税は、9億円の要望額に対して8億4千4百万円が交付決定されました。

これは、金額、交付率とも過去最高で、尾花沢市民にとっても最高の結果となりました。



過去最高の特別交付税

毎年、市長を先頭に私たち全議員が、関係機関や県選出国会議員などに対し、積極的に要望活動を行ってきた結果です。

本当にご苦労様でした。

請願

平成30年請願第5号

12月定例会継続審査

◎「核兵器禁止条約について、政府が締結することを求める」意見書の提出に関する請願 (不採択)

平成31年請願第1号

請願者 岩谷沢区長 菅藤 卓雄
◎岩谷沢地区土砂災害に関する請願 (採択)

3月臨時会

3月臨時会は、3月28日招集され、議第29号副市長人事案件の審議が行われ、賛成多数で可決されました。

3月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載 他は全会一致)

受 理 番 号	採決の結果	鈴木 裕雅	塩原未知子	和 田 哲	星 川 薫	笹 原 和子	伊 藤 浩	小 関 英子	武 田 佳久	大 類 好彦	星 川 睦子	青 野 隆一	奥 山 格	加 藤 克彦	菅 野 修一	須 貝 孝
議第23号 市有財産無償譲渡	可 決	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議第28号 人事案件	否 決	無記名投票による。 賛成6 反対1 棄権5 無効2														
H30年請願第5号	否 決	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×
臨時会 議第29号	可 決	無記名投票による。 賛成8 反対5 無効1														

注釈：無効とは賛否をあきらかにしない。棄権と無効は否とみなす。

予算特別委員会で新年度予算に要望！

第一分科会 総務文教常任委員会

地域開発費の移住推進協議会負担金

首都圏で行う移住希望者とのイベント開催時には、効果的で積極的なPR活動を要望した。

中央公民館費

『はたちのつどい』について、人口減少や定住対策として各課連携されるよう要望した。

尾花沢市議会議員選挙に係る公営負担金

選挙の立候補者に対し事前説明を行うよう要望した。

消防施設費

人口減少の中、各地区消防団施設や消防資機材の老朽化対策も含め、さらなる市民の安全確保を要望した。

活力ある学校づくり推進事業委託料

各学校の特色を活かすとともに、地域との貴重な体験の場となっており、今後も積極的な取り組みを要望した。



高齢者買物支援事業

移動販売車を活用した方法など、利用者のニーズと時代に即した方法を、さらに検討されるよう要望した。

放課後児童クラブ

入所できない児童への対策を検討するとともに、支援員の処遇改善などに努めるよう要望した。

予防接種等業務委託料

子どものインフルエンザ予防接種の効果などを把握し、接種率をさらに上げていく取り組みを図るよう要望した。

農業振興費

本市農業の振興を図るためには、6次産業化を推進する必要がある。アグリパークなどの先進的な取り組み

第二分科会 産業厚生常任委員会

除雪業務委託料

間口除雪のさらなる充実を図るため、間口除雪に適した機械の導入を検討し、現在生じている、雪による負担を軽減するよう要望した。

林業総務費

有害鳥獣対策として、「未収穫のままの果樹は残さない」など、集落や農地周辺に野生鳥獣の工サ場の除去を一層推進し、また、近年増加しているイノシシによる農林被害の軽減対策を要望した。



持続可能な尾花沢の未来構想は「雪」の活用から

市長…豪雪地尾花沢らしい環境教育の場を提供していく



塩原未知子 議員

問

今冬は銀山温泉の雪景色人気の他、徳良湖を雪遊びの聖地に

徳良湖を雪遊びの聖地に

答 雪の苦勞で転出者が多い中、間口除雪への取り組みで今後除排雪経費が増大してくる。持続可能な開発目標「SDGs（エスディージーズ）」のとりくみを取り入れ、子ども達への環境教育を充実させ「雪」があるから尾花沢に住みつづけたいまちづくりにすべきではないか。

問

花笠高原荘と徳良湖温泉

「森のホテル御所山」は徳良湖と銀山を含む広いエリアを想定していた。急増するインバウンドや企業・合宿の対応など、

答 天候も良く集客もあり大好評だった。これからも継続して銀山からの周遊観光ができるよう、冬期間のログハウスやキャンプ場を含め徳良湖周辺の活性化を進めていく。

問

キャッシュレス決済

商品券やポイント事業を大石田町と連携

答 1年間指定管理を延長した。鶴子地区37人の署名と御所の湯と施設の存続を求める要望書が出された。検討委員会の意見と地区の意見を受けとめ丁寧に検討し9月ごろには方向を定め、委託先を選定したい。

問

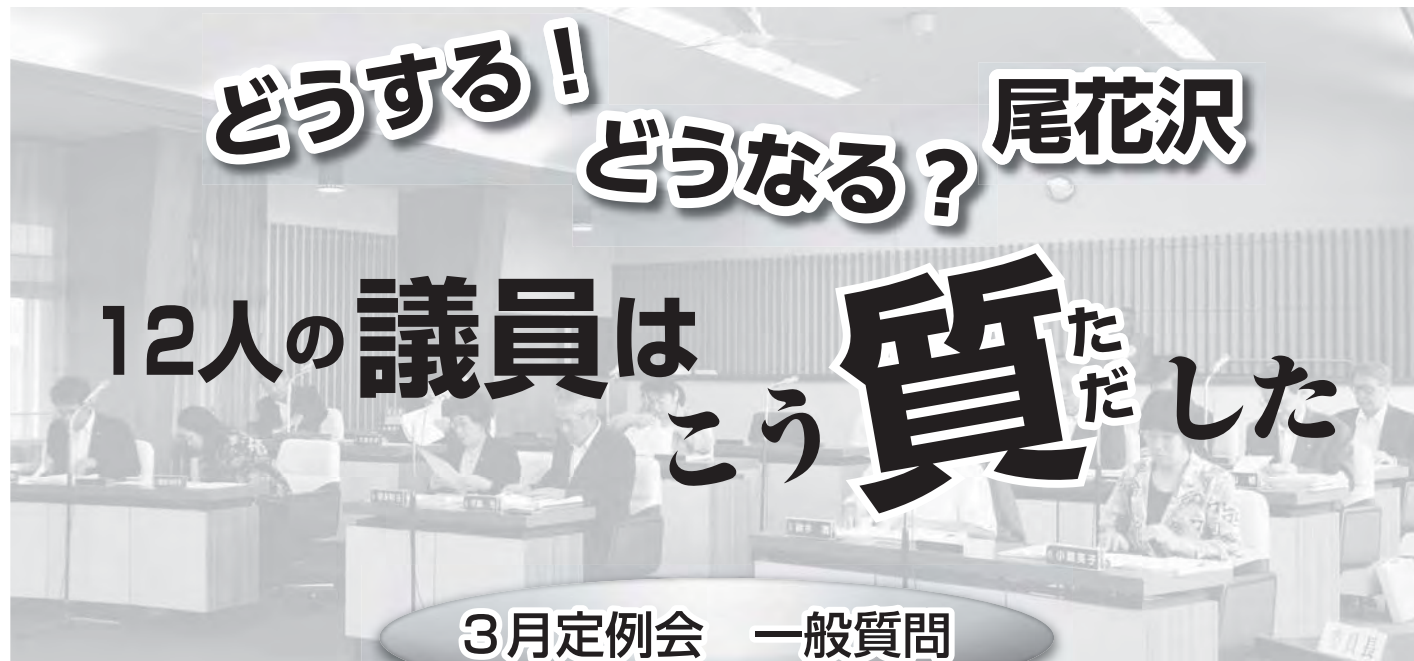
持続可能な開発目標

公共連携

答 県の健康ポイント事業と合わせ実施。市では15ポイント1千円の商品券、大石田ではあったまりランド入浴券を発行。現在大石田駅ではJRの電子マネーSuicaが使えない。インバウンド対応にも、先ずは駅で使えるようスイカの名産地としても宣伝効果があるため市単独でも進めていきたい。



銀山山から鶴子地区 防災と山の保ちは先ず林道整備から！



3月定例会 一般質問

○囲み数字が掲載

塩原未知子	① SDGs持続可能な尾花沢の未来構想は「雪」の活用から ② 徳良湖を日本の雪遊びの聖地に ③ 花笠高原荘と徳良湖温泉、周辺の管理委託について ④ プレミアム商品券とキャッシュレス決済について ⑤ 新庁舎開庁後の市役所対応について	青野隆一	① 6次産業化の推進策について ② 市制施行60周年にあたって ③ 子育て政策について
大類好彦	① 市長報酬について ② 銀山温泉について ③ 市長公約10の政策の半年間の進捗状況について	加藤克彦	① 定住対策について ② 安心して子育てできるまちづくりについて ③ 6次産業支援について
小関英子	① 防災対策の拡充 ② 安全安心な交通環境の確保 ③ 緊急通報システムの更新 ④ 風疹の予防接種への対応 ⑤ 安全運転・安心なまちづくりへの取り組み	和田哲	① 子育て支援政策について ② 尾花沢市行財政改革プランについて ③ 行政が提供できる公共空間「サードプレイス」について ④ 本市将来像のイラスト化について
伊藤浩	① 尾花沢市の地域振興策について ② 学校統合計画と廃校舎の有効活用について ③ 鳥獣被害対策について	星川睦子	① 臨時財政対策債について ② 中央診療所について ③ 地方分権改革にかかる提案募集方式について ④ 2020年教育改革について ⑤ 徳良湖温泉花笠の湯及びその周辺施設の指定管理について
星川薫	① スポーツ振興について ② スノーランドとWINTERJAMの今後の在り方について ③ 空き家対策について	鈴木裕雅	① 今冬に倒壊した空き家への対応 ② 放課後児童クラブの課題と今後の展望 ③ 間口除雪の評価は ④ 学校給食に地元産そば粉アイデア料理を活用してはどうか ⑤ スイカ農家の冬場の仕事について
笹原和子	① 「田園回帰1%戦略」を政策に加えてはどうか ② すいかエキスを持続させる6次産業のさらなる確立を ③ 尾花沢市内小中学校給食の食物アレルギー対策について	菅野修一	① 夢があふれる地域農業ビジョンへ ② 流雪溝の整備促進について

国産液体ミルクを防災備蓄品に

市長…安全性やコストなど研究検討する

問 厚生労働省で許可された国内産の乳児用ミルクは、常温管理ができ調整せずに使える便利なミルクなので備蓄品にしてはどうか。

答 災害備蓄品としてアルファ米、飲料水、毛布などを指定避難所に配置している。国産液体ミルクが販売されている。災害時に乳児が避難することも想定されるので、安全性や消費期限、コストなどを研究し検討を進めていく。

問 指定避難所の資機材や備蓄品のリストを作成し見える化してはどうか。

答 新年度の点検時に自主防災会役員の方々

防災対策



国産液体ミルク

問 災害時に備えて各家庭で食料品や日用品など、ローリングストック(回転備蓄)を推進してはどうか。

答 非常に効果的な方法なので、市民への周知をしていきたい。

問 立会いしていただき、避難所機能の見える化を推進したい。

小関 英子 議員

新しい時代とともに前進あるのみ!!



银山温泉の整備は！

市長…支援していく

問 银山温泉に集会所とトイレを作つてほしいと要望が出ている。市の考えはどうか。

答 旧柴田屋旅館の整備については、公衆トイレや観光案内所などとして活用したいとの事であり、来年度中に具体的な計画を策定する旨をお聞きしている。計画策定の段階から市も加わり、実効的な計画となるよう支援していく。

問 おもだか保育園や尾花沢小学校の学園都市構想とはなにか。

银山温泉



答 保育所と小学校を一体的に整備することで駐車場などの共有化や連携した教育活動も可能となり、保護者の負担軽減に繋がるものと考えています。「設置場所」「規模」「費用」などの課題の洗い出しに着手し、今任期中に方向性を示して考えていく。

大類 好彦 議員

間口除雪
今までと
変わらないなー？



間口除雪

問 間口除雪による克雪対策とはなにか。

答 間口除雪については、ロータリー除雪車で作業を行っている。それらの路線については、その機械の性能を活かし、各戸の間口や車庫前に接する市道には雪を飛ばさない作業を行っている。結果的に間口除雪に結びついている。

今後、各区長さんをはじめ関係者の方々からもご意見をいただきながら、よりきめ細やかな除雪作業に努めていく。



雪押し場対策

問 冬期間、市民の安全通行確保のために、雪押し場として提供した土地の固定資産税など軽減してはどうか。

答 雪押し場は区長さんをはじめ関係者の協力で確保できているが、家屋の新築や雪解け後の土地の状況などで雪押し場の確保が難しくなっている。家屋の空き家解体後の土地を雪押し場へ活用するなど、減免に限らずほかの手法も含めて検討していく。

風疹の予防接種

問 国では風疹の拡大防止のため、3年間風疹の抗体検査と予防接種を原則無料で実施する。市内に対象者は何名でどのような対応を考えているか。

答 市内対象者は1千438名で、無料券を発行し特定検診や事業所での健診時に検査し抗体価の低い方に予防接種を受けていただきます。

各事業所への協力依頼を行うとともに、大型店舗、医療機関、コンビニエンスストアなどにポスターを掲示して周知に努めていく。

スポーツ振興をどう進めるのか

市長…スポーツを楽しむ環境整備に取り組む



星川 薫 議員

問 スポーツ少年団などへさらなる支援を

答 各団体へ活動費に対する補助や指導者を育成するために、スポーツ少年団強化育成補助金を交付している。来年度からは、スポーツ少年団等選手派遣費補助金を創設し、中学生のクラブチームも含め、交通費などを補助金として交付し、スポーツ少年団等活動経費として支援していく。

問 花笠高原施設の交流施設を減免対象にしてはどうか。

答 花笠高原施設等の指定管理のあり方を話

問 スノーランドとウインターJAMの今後の在り方について

答 し合う中で協議していき、関連する市スポーツ施設との整合性をみても減免にする必要があると考えている。

問 スノーランドとウインターJAMは冬の観光地として、期待を寄せられている。観光コーデイナーターまたは旅行代理店を数年雇い、銀山、花笠高原、徳良湖、芭蕉・清風歴史資料館、商店街を線で結ぶ策をつくってはどうか。

答 現在、人的配置の予定はないが、先進事例として、戸沢村・大蔵村で取り組んでいる事例もある。

問 徳良湖周辺整備マスタープランを平成30年3月に策定しているが、今のスノーランドの場所は、マスタープランでは夏場はドッグランとして整備する方向でよいか。

答 ドッグランの土地形成について調査した



問 空き家対策について

答 尾花沢市空き家対策計画に基づいた所有者への、助言・指導・勧告などを行った事例はあるか。

問 現在には無い。電話、文書などで行っているが今後、空き家対策法に則った措置にも踏み切っていかなければならないと考えられる。

問 不良住宅除却促進事業補助金制度はいつからか。

答 要綱作成も進めており、新年度より受け付けたい。

少しずつだがいい方向に向かっているぞ



集落の活性化で尾花沢市が発展する

市長…地域に意見交換の場を呼びかけていく



伊藤 浩 議員

問 地域振興

答 集落の活性化を無くして、尾花沢市の発展は無い。地域活動力の温度差を無くすためにも、すべての集落で「元気な尾花沢を語る会」を開催し、地域の本音を引き出し、地域振興のテーマを話し合い、地域の振興を進めるべきではないか。

問 インバウンド効果を地域振興に繋げるために、花笠高原荘など市内の公共宿泊施設を安価な宿として提供する事を情報発信してはどうか。

答 「花笠高原施設の今後の活性化のための前向きな検討」の要望書が出ており、今後活性化策を話し合う事としている。宿泊を伴うインバウンドの方々に本市の魅力を堪能して頂き、リピーターとなってもらえるよう、観光ルートの構築など、複合的な環境整備と併せて情報発信が出来るようにしたい。

問 尾花沢小学校の新築

答 計画は、将来の市全体の計画も踏まえて

問 早急に具体化すべきではないか。

答 新築計画については、「尾花沢の学園構想」も含めて、総合的な考え方で進めなければならぬ。この構想を実現するにあたり、新年度は学校教育検討委員会での意見を踏まえながら、庁内関係課により、「法規制を踏まえた設置場所」「規模」「費用」など課題の洗い出しに着手していく。

問 空き校舎を有効活用するために「空き校舎活用ネット」を作成し広く情報発信を行い、活用してくれる団体や企業、アイデアを募集してはどうか。

答 現在「空き公共施設の利用及び管理に関する検討委員会」を組織し、

問 近年急増しているイノシシは、人的被害の危険性も大きく早急な取り組みが必要である。近隣の猟友会の応援を受けて、一斉駆除をしてはどうか。

答 今年度は箱罾やくくり罾を増強している。新年度には、本市がイノシシ捕獲事業の対象地として選定されており、猟友会と準備を進めている。

「少子化」が進む中、保育園や学校の位置づけは待った無し。



6次産業化やスマート農業の推進を図れ！

市長…関係機関と連携して、経営の安定化を図りたい



青野 隆一 議員

6次産業の拠点整備

問 経営不振と老朽化が心配される市とJAが出資する「尾花沢農産加工(有)」を、本市6次産業化の拠点施設として整備していく考えはないか。

答 設立33年を迎える施設は、商品取引の減少や漬物の原料確保が年々厳しくなっているため、社員一同が経営向上を目指すとともに、「経営改善計画」を策定した。

本市の農業振興や雇用創出、また6次産業化を推進するうえで不可欠な会社と捉え、関係機関と連携して経営の安定化を目指していきたい。

スマート農業の推進

問 雪だけでなく農業の衰退が人口減少の原因である。酒田市のように情報通信技術(ICT)を活用したスマート農業を推進すべきではないか。

答 大規模化やスイカ栽培も含めて、省力化や収益の向上のためにもスマート農業化は有効と考える。今後農家の皆さんと一緒に考えていきたい。

友好都市の拡大

問 交流人口や関係人口拡大のために、本市とゆかりのある岩手県宮古市や板橋区と友好姉妹都市を結んでどうか。

答 本市では20年前に宮城県岩沼市と友好都市を締結した。まずは、板橋区について検討してみたい。

放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの申し込み状況と受け入れ状況はどうか。

答 尾花沢、福原、玉野地区で来年度の利用希望者が定員を超えている。今回は、緊急性の高い方々を優先的に決定したが、今後は受け入れスペースや支援員の確保など抜本的な体制の整備について検討したい。

スキーが好きになる教育

問 順位を競うだけでなく、苦手な子供たちもスキーが好きになり、雪と尾花沢が好きになるための教育をどう進めていくか。

答 本市中学生が、東北全国大会で活躍した。こうした子供たちの支援とともに、スキーが得意でない子供も雪やスキーに親しめるような取り組みを、学校や各種関係団体と意見を交わしていきたい。



もうかる農業こそ人口減少対策だ！



ふるさと回帰に「25才同窓会」の開催はどうか！

市長…はたちの集い時に、参加者と相談



笹原 和子 議員

人口減少対策

問 地区人口の1%の移住者を呼び込めば、企業誘致や特産品開発に頼る必要が無いとする「田園回帰1%戦略」を提唱し、全国でも成功事例が多く、特に若者子どもを持つ若い夫婦の移住が多いと、好評を得ている研究所がある。鶴岡市、加美町も30年度からこの戦略を開始しているが、本市の人口減少対策に歯止めをかける対策として「第7次尾花沢市総合振興計画」に組み込んではどうか。

答 総合振興計画における7つの基本目標があり、「働く場の確保」「定住促進対策」「コミュニティ



イの再生」「移住・交流」の施策項目を設定し、「企業誘致」「安価な宅地供給」「地域おこし協力隊の活用」「U・J・ターンの促進」を展開し、次期計画の策定にあたり、これまでの評価検証を行い、本市に必要な施策を盛り込んだ計画を策

ふるさと納税返礼品に

問 おばなざわ産摘果すいかエキス入りの付

定したい。また、鶴岡市や加美町の取組事例などを参考に調査研究をしていく。

答 返礼品については、総務省の地場産品の考え方を精査しながら前向きに検討、プレゼントについては、ユニークな企画で話題性もあり、販売元や化粧品原料事業所と連携しながら、本市のPRの方法や発信先を検討する。

すいか美人の里！…いいんじゃない？



病児・病後児保育の実現を！

市長…事業実施に向け検討を進めていく



和田 哲 議員

子育てと仕事の両立

問 保護者の子育てと仕事の両立を応援できるように、ぜひ病児・病後児保育環境の整備を進めていただきたい。現在の検討状況はどうか。

答 現在「市内への開用調整」と「広域的な利便性」の両面から事業実施に向けた検討をしている状況である。市内開設については、医師の協力体制の構築や利用希望者ニーズに応じた設置場所および運営体制などの課題を整理しながら検討し、広域的な利便性については、近隣自治体との調整など働きかけを行っている。

行財政改革プランについて

問 第3セクターの経営安定化に向けて、どのような取り組みを行うか。

答 第3セクターなどは、市民の暮らしを支える事業を行う重要な役割を担っている一方、経営が著しく悪化した場合には、自治体の財産に深刻な影響を及ぼす可能性もある。先進事例を参考とするなどして課題の洗い出しを行うとともに、経営健全化に向け取り組んでいく。

遊べる居場所づくり

問 徳良湖周辺設備マスタープランの中に位置づけされている、「モジュラーパンブトラック」

ユラーパンブトラックの「新設」についての検討状況はどうか。

答 「モジュラーパンブトラック」とは、自転車やスケートボード、子供用のランニングバイクなどを楽しむことのできる設備で、スケートボードが東京オリンピックの正式種目にもなったことから、今後、若者のニーズが高まると期待される。

しかしながら、本市の気象条件による課題や、安全対策のためのルール作りなど課題も多数ある。設置に向け、これらの課題解決に努めていく。

また、徳良湖周辺設備マスタープランに基づく全体の施設整備については、緊



モジュラーパンブトラック

子どものころ、放課後ってどうやって過ごしてましたか？



全世帯、間口除雪の充実を図れ

市長…市民負担を軽減する



加藤 克彦 議員

無償住宅地提供

問 条件付き無償住宅地提供について今後の計画と財源について聞きたい。

答 市長公約の中に格安な住宅供給による若者定住や移住の促進を掲げている。宅地取得への支援策は、宅地取得補助金を活用し市有地の貸付を行い住宅を建設して、一定期間居住していたら土地を無償譲渡することも一つの手法として考えられる。しかし宅地造成は国の予算で施工することになり、財政状況を考えれば尾花沢市単独事業では不可能と考える。

放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの入所状況と入所の可否を決める選定方法の内容は何か。児童や保護者に丁寧な説明が必要ではないか。

答 放課後児童クラブの入所状況は、入所希望者数22名に対し17名の入所決定をした。入所の可否については、文書のみでの通知を行い、審査基準が不明瞭ではとの意見をいただき、丁寧な対応に心掛け、この度の結果についてご理解をお願いした。今後家庭環境の変化など様々な理由により、入所希望される方について随時ご相談を受け、一緒に対応していく。

6次産業支援

問 6次産業支援ができる、「アグリパーク」を設置しはどうか。

答 山形県は、食品加工支援ラボを利用される事業所も多く、技術面については、設備投資・経営面については、山形6次産業サポートセンターより専門的アドバイスが受けられる。今後、先進地視察を実施し6次産業の推進を努め、さらにアグリパークの設置ができるよう努力していきたい。

徳良湖にアグリパークを作りたいナー



なぜ丁寧な対応が行えなかったのか？

福祉課長…反省すべきところがあったと思う



鈴木 裕雅 議員

問 放課後児童クラブの課題と今後の展望

問 放課後児童クラブの利用希望者は増加、もしくは横ばい傾向にある。利用を希望しても定数の関係で、利用できない児童も多く発生しているのが現状。不許可となった申込者に対し、丁寧な説明をすべきではなかったか。

答 お断りの文書発送後、数名の方から問い合わせがあり、丁寧な対応を心掛け、この度の結果についてご理解をお願いした。今後どのような対策をとっていく考えか。

答 現在の運営スペースはこれ以上の拡張はできない。今後家庭環境の



変化などさまざまな理由により、入所を希望される方については随時相談を受けながら、一緒に対応策を考えていきたい。

問 間口除雪について

問 間口除雪を実施したということだが、具体的にどのような市民を対象に、何件実施したのか。

答 本町地区の家屋連垣地区などを除き、可能な範囲内で全路線で間口除雪を実施してきた。ある程度の間口除雪は実施されたものと考えている。

問 今後は実施できなかった間口除雪の予算をしっかりと確保しながら対応していくべきではないか。

答 流雪溝を活用した雪処理を行っていきたい。今シーズンの実施状況について振り返りを行いながら検証するとともに、関



係者の方々からもご意見をいただきながら、よりきめ細やかな除雪作業に努めていく。

児童クラブの待機児童を解消したいなあ



中央診療所は医療のよりどころ。体制強化を図れ！

市長…今後の診療体制の在り方も検討していく



中央診療所

問 中央診療所は、現在の体制では医師の負担が大きい。市民から、産科・小児科を望む声も聞かれる。地域の医療体制は安心して暮らしていく上で大切なことである。医師確保について、市はどのような方針で進めていくのか。

答 中央診療所は、現在最重要課題であると考えている。多方面からの情報収集に努めるとともに、関係機関に積極的に働きかけていく。

問 スプリンクラーの設置が義務化されたが、いつ頃設置されるのか。

答 消防法施行令の一部改正により、中央診療所への設置義務が課されている。平成37年6月末までの期限内に設置を行っている。

問 徳良湖温泉「花笠の湯」と周辺施設の指定管理について

問 指定管理が1年延長されたのは、市の準備不足によるものであり、市に責任があると思われる。延長の理由は何か。

答 延長としたのは、花笠高原エリアと一体で方向性を検討していくことが最も望ましいと考えたためである。今後も、市民に喜んでもらえる施設となるよう検討していく。

問 株式会社ふるさと振興公社は、指定管理を受けながら赤字経営を続けている。指定管理施設として適合していないのではないか。今後どのようにしていく方針か。

答 指定管理施設が市民の福祉向上に繋がるよう、業務委託すべきものを整理したうえで、公社以外にも担える部分がないか



星川 睦子 議員

問 間口除雪を実施したということだが、具体的にどのような市民を対象に、何件実施したのか。

答 本町地区の家屋連垣地区などを除き、可能な範囲内で全路線で間口除雪を実施してきた。ある程度の間口除雪は実施されたものと考えている。

問 今後は実施できなかった間口除雪の予算をしっかりと確保しながら対応していくべきではないか。

答 流雪溝を活用した雪処理を行っていきたい。今シーズンの実施状況について振り返りを行いながら検証するとともに、関



徳良湖温泉(26日ふるの日)

検討していく。

近くに病院があれば、暮らしていくにも安心だ



広域組合議会の報告

現在、広域行政の業務としては、プラネタリウムと視聴覚センターの運営のみとなっております。引き続き研修、学習機能や一般公開事業の充実を図るとともに、今後は広域で抱える課題などを再度検討していく必要が出てきたため、各市町村選出の議員間の活発な議論に期待したいと思っております。

市町名	負担金
尾花沢市	1,676万7千円
村山市	2,778万8千円
東根市	3,315万3千円
大石田町	992万4千円
合計	8,763万2千円

3月27日、村山市議会議場にて定例会を開き、平成31年度一般会計予算9千243万円と、3市1町の負担金を原案通り可決しました。任期満了に伴う教育長に菊地和郎村山市教育長を、教育委員に井田慶子氏を再任した。辞職する布川教育委員の後任に、本田諭氏（大石田町）を新任することに全会一致で同意し閉会しました。

北村山広域行政事務組合議会



LED化したプラネタリウム



チェロとヴァイオリンの星空コンサート



リハビリ棟の浴槽

市町名	負担金
尾花沢市	1億3,869万5千円
村山市	2億9,962万1千円
東根市	4億7,463万7千円
大石田町	6,713万2千円
合計	9億8,008万5千円

3月22日に、北村山公立病院組合議会定例会が開催されました。「北村山公立病院組合就学資金貸与条例の制定について」は、看護師や薬剤師の人材を確保するために、月額6万円の就学資金を貸与して、公立病院に一定期間勤務した方の返済を免除するという内容です。

北村山公立病院組合議会

就学資金貸与条例を可決

市長が抱く本市農業ビジョンは

市長…農業収入だけで食べていける農家育成を

地域農業ビジョンへ

問 次世代を担う子どもは、本市農業をどのように学んでいるのか。

答 学校では、授業・体験的活動・食育の3つの分野で農業について学んでいる。

問 攻めの農業として米の海外輸出などは市農業再生協議会でどう考えているか。

答 海外市場に積極的に進出し、輸出拡大を図っていく。

問 県営農地整備事業のハードとソフト両面の事業内容を伺いたい。また、鶴子六沢地区で取り組まれている31年度事業内容はいかがか。



菅野 修一 議員

答 ハード面は区画整理、農業用排水施設整備などの生産基盤の整備。

問 農地の未整備地区が順次調査計画に取り組めるように働きかけを願いたい。

答 今後、要望があれば関係者と入念に協議・検討を重ねながら対応していく。

流雪溝の整備促進

問 本市の重要事業として県へ毎年要望を行っている（六沢・荻袋・車段・下柳）の流雪溝整備の事業進捗はどのようになっているのか。

答 クリアしなければならぬ課題も多く事業採択まで至っていない。

問 水源や水量の確保と導水路に関しては、事前に市当局で調整準備をすべきと考えるがいかがか。

答 市で調整・準備すべきと北村山振興局と確認している。

問 請願後、長年経過しても事業が進まずにいますと市民が行政に対し望みを失ってしまつた。整備促進を図る当局の考えを伺いたい。また、地区住民へ説明すべきと考えるがどうか。

農業者がふるい立つような施策が必要なんだ！



答 平成31年度から、消流雪用水対策専門員を配置し早期実現に取り組む。また、丁寧な説明を実施し流雪溝整備の早期実現に取り組んでいきたい。



尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

3月25日に3月定例会を開催し、平成31年度一般会計予算総額6億2千75万1千円（前年度比9.5%増）となりました。公共下水道事業特別会計予算は、6億6千486万9千円（前年度比1.6%増）となりました。

尾花沢市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算は、6千74万2千円（前年度比15.3%減）となりました。主な支出としてガス化溶融施設維持管理補修工事費1億800万円、運搬車購入費800万円、汚泥再生処理センター機械設備修繕料698万4千円など8議案を原案の通り可決しました。

功労表彰者

加藤 克彦(8年)
齋藤 公一(12年)
遠藤 宏司(12年)

市町名	負担金	
	一般会計	公共下水道事業特別会計
尾花沢市	3億6,306万円	1億9,175万円
大石田町	1億6,409万円	5,757万円
合計	5億2,715万円	2億4,933万円

モニター 募集します！



議会だより・読者モニター（若干名）

議会だより編集委員会では、より読みやすく親しんでいただける広報誌づくりを目指しています。年4回発行される議会だよりを読んで、感想やご意見を寄せていただく読者モニターを募集しております。

応募の締切り

5月31日(火) 午後5時まで

モニター期間

令和元年5月～令和2年3月末

連絡先

尾花沢市議会事務局
電話 22-1111 FAX 24-0321
メール gikai_j@city.obanazawa.yamagata.jp

表彰

市表彰規則に基づき、永年にわたり市議会議員を務められた方が表彰されました。

議員8年表彰

大類好彦 議員

市議会議員に挑戦を！

これからも読みやすい発行をお願いします。

「祭り山車」の再現、楽しみです。

議会だより100号おめでとうございます。(ありがとうございます)

市議会だより100号へのモニターの声

「広域組合議会の報告」は、読む意欲が湧きません。工夫して下さい。(工夫していきます)

七福神のイラストは大変良いと思います。

補正予算の紹介は、使い道について写真が添付されてわかりやすいです。

「賛否状況」では、賛成反対の主張の掲載があれば、もっと関心が高まると思います。(討論があれば載せていきます)

質疑応答は、問題に向き合って解決しようとするのが伝わります。

読んでいて飽きない内容で、とても分かりやすかったです。

表紙の写真は、とっても温かく心惹かれました。

地域の活動をもう少し載せてほしいです。(表紙で挑戦します)

「学んだことを市政に活かす」のように、どんどん視察してよい点を取り入れて下さい。

【議員のなり手がいない】最近、市町村議会議員など地方議員のなり手が少なく、議員報酬の引き上げをするなどの対策が進んできています。選挙運動費用の公費負担制度は、市長及び市議会議員選挙に立候補しやすくなるために、候補者の経済的負担を軽減し、広く立候補の機会を持てるようにするものです。

【ぜひ立候補を！】この制度がなかったのは、県内13市中尾花沢市だけでしたが、この度、議員定数を2名削減することを契機に、実施されることになりました。

昨年の市長選挙から適用されましたが、今夏7月に行われる市議会議員選挙の公費負担の内容について解説します。



【自動車の使用に関する費用】

- ①一日当り
- ①タクシー業者と契約した場合
 - 64、500円以内
- ②レンタル契約の場合
 - 借上げ料は15、800円以内
 - 燃料代は7、560円以内
 - 運転手報酬は12、500円以内

【掲示ポスター作成費用】

ポスター掲示場総数を上限に、1枚当たり2、568円程度を費用負担する。

選挙ポスター掲示場	1	3	5
投票日	2	4	6

【ビラ作成費用】

告示以降配れるビラは4千枚まで 作成単価7・51円上限額は30、040円

【ハガキの郵送料】

これまでもあった制度で、選挙用ハガキ2千枚の郵送料を公費負担します。

人のうごき

議員辞職

2月21日付で、鈴木清氏は一身上の都合で議員を辞職されました。

議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より変わりました。

転出

総務課へ
鈴木 浩

退職

阿部 睦美

転入

健康増進課から
事務局長
横沢 康子

転入

農業委員会事務局から
局長補佐
吉野 真広

表紙の説明

3月に尾花沢市内の小学校を卒業した6年生の笑顔で表紙を飾りました。平成から令和へ、新たな時代の幕開けです。次世代を担う子ども達に、希望輝く未来を託します。

発行責任者

- 議長 須貝 孝
市議会だより編集委員
委員長 小関 英子
副委員長 鈴木 裕雅
委員 大類 好彦
委員 青野 隆一
委員 塩原未知子
委員 笹原 和子
委員 伊藤 浩

尾花沢市議会
インターネット中継
市のホームページからアクセスできます
www.city.obanazawa.yamagata.jp